



めたせこいあ

至 創 努 校
誠 造 力 訓

島根県立吉賀高等学校 〒699-5522 鹿足郡吉賀町七日市 937

電話 (0856) 78-0029 FAX (0856) 78-0742

HP アドレス <http://www.yoshika.ed.jp/>

『未来を変えた島の学校—隠岐島前発 ふるさと再興への挑戦』から学ぶこと

吉賀高等学校 校長 齋藤雅典

町内の行事に出かけると、吉高生の何年か前の姿をイメージできたり、地域の雰囲気を感じたりすることができます。そして時には、吉賀高校は数ある進学先の一つでしかないことを強く意識することがあります。たとえば、夏の成人式で、吉高の卒業生ではない、たくさんの若者を見た時もそうでした。そして、今後もこの状況が変わらなければ、少子化が進む中で吉賀高校が存続することはできないだろうと考えたりします。しかし、そんなふうに「存続」ばかりを考えても道は開けない、そのことを『未来を変えた島の学校—隠岐島前発 ふるさと再興への挑戦』(山内道雄 岩本悠 田中輝美 著)という本が思い起こさせてくれました。

この本を読んで、隠岐島前が成功するまでの長く苦しい過程を知りました。平成18年に島へ移住した岩本さんを待っていたのは、「おまえいつまで島にいるつもりだ」「ここに骨を埋める気がないなら帰れ」などという言葉でした。高校との関係も難しく、学校の中に自席ができるまでには3年もかかっています。苦労と努力の上に魅力化が成し遂げられたことが、よくわかりました。次の文は、本からの引用です。

魅力化とは、生徒にとって「行きたい」、保護者にとって「行かせたい」、地域住民にとって「活かしたい」、教員にとって「赴任したい」と思う魅力ある学校になることであって、その結果として「存続」がついてくる。目指すべきは、高校の存続ではなく、魅力ある高校づくりなのだ。

隠岐島前高校の魅力化の最初の一步は、観光甲子園でグランプリを取ったこと、そして、そのプラン「ヒトツナギツアー」を実現させたことです。その中で、目立たなかった生徒たちが大きく成長していく、そして、その姿を島の人たちが見て、高校を見る目が変わっていった様子が書かれています。その後、「隠岐国学習センター」(学習支援・キャリア教育・進路支援)、「島留学」(島外からの生徒募集)と魅力化の取り組みが続いていきました。

さて、この隠岐島前のような地域と協働した魅力ある学校づくりを他地域にも広げようと始められたのが、「離島・中山間地域の高校魅力化・活性化事業」です。平成23年度の事業開始以来、吉賀町と吉賀高校も様々な取り組みを行ってきました。そして今、吉賀高校が生徒にとって「行きたい」学校になったか?と自問すると、まだ途中だと答えざるを得ません。いろいろな面で前進はしました。しかし、さらにやるべきことがあります。今、その一つとして計画していることが、「全国高校生自然環境サミット」の開催です。来年8月に行われるサミットでは、全国から15校60人の高校生たちが吉賀町にやって来て、環境学習をしたり、ワークショップをしたりします。そして、吉高生がその運営にあたります。多くの人々が注目するこの活動の中で、生徒が成長する姿を見ることができれば、魅力化の大きなステップになる、そういうチャンスだと考えています。

町内の中学生が吉賀高校に「行きたい」と思う状況をつくること、そのことはそう簡単に実現できることではない、しかし、「存続」のためには他に道はない、『未来を変えた島の学校—隠岐島前発 ふるさと再興への挑戦』という本は、そのことを教えてくれています。

きん祭みん祭・七力祭り参加

きん祭みん祭 (六日市会場)

地域クラブリーダーの7人がこの日のために「吉高書道ガールズ」を結成し、オープニングを盛り上げました。きん祭みん祭のテーマである「感謝」の文字と、日頃吉賀高校を応援して下さいいる地域の方々への感謝の気持ちを込めて「心の里うた」を元気いっぱい書き上げました。



七力祭

音楽部がステージ発表で合唱2曲を披露し、体育館に歌声を響かせました。また、地域クラブはよしか米を使った「ライスバーガー」を販売しました。販売開始から1時間も経たないうちに、用意した100個が完売!お買い上げいただいた地域の皆様、大変ありがとうございました。



きん祭みん祭 (柿木会場)

音楽部がステージ発表で合唱1曲とバンド演奏1曲を披露し、練習の成果を発揮して会場を盛り上げました。茶道部は婦人会のお手伝いでお茶席に参加しました。地域クラブはライスバーガーの販売を行いましたが、「七力祭りで食べてとてもおいしかったから。」と言ってまた買いに来て下さった方もおられ、大変嬉しく思いました。「おいしかったよ。」「頑張ってるね。」と声をかけていただく度に、改めてよしか米のおいしさと地域の方々の温かさを実感しました。



吉賀未来グラウンド オープニングイベント 招待試合

12月6日(日)に立正大湊南高校1年生チームと九州国際大学附属高校1年生チーム、ボアソルテ美都(中学クラブチーム)を招き、吉賀未来グラウンドにて招待試合を行います。今回の招待試合は、U-16の試合として、吉賀高校・鹿足SSの合同チームで強豪チームと対戦します。詳しい日程は以下の通りです。是非、ご来場いただき、ご声援よろしくお願いします。

9:30 吉賀高校・鹿足SS—ボアソルテ美都	11:00 立正大湊南高校—九国大附属高校
12:15 吉賀高校・鹿足SS—九国大附属高校	13:30 立正大湊南高校—ボアソルテ美都
14:10 九国大附属高校—ボアソルテ美都	14:50 吉賀高校・鹿足SS—立正大湊南高校

部 活 動 報 告

◎**サッカー部** 10月23日(金)に島根県高校サッカー選手権大会が行われました。1回戦は新人戦準優勝の松江南高校との対戦でした。相手チームは技術力が高いチームでしたが、吉賀高校サッカー部は怯むことなく、思い切って戦いました。多くのチャンスをつかみながらも、得点することができず、延長戦に突入するかと思われた後半終了間際に失点してしまい、0-1で惜敗しました。今シーズンのベストゲームだったと感じる試合でしたが、後一步及びませんでした。この試合を期に1、2年生の新チームへ移行します。後一步が届くように練習に励みたいと思います。

◎**女子バレーボール部** 11月13日(金)～15日(日)に安来市で行われた選手権(春高予選)に出場してきました。1回戦は初出場の江津工業高校と対戦して、ストレートで勝利しました。2回戦はベスト4まで進出した松江商業高校と対戦して、力の差を見せつけられ敗退しました。

1月の新人戦に向けレシーブとパスの精度を上げてミスを減らし、ラリーの中でより多くの得点を取ることができるよう練習に励んでいます。ご声援ありがとうございました。

【1回戦】吉賀2-0江津工業(25-11, 25-11) 【2回戦】吉賀0-2松江商業(8-25, 15-25)

◎**ソフトテニス部** 10月30日～11月1日に行われた新人戦に出場しました。団体ベスト4を目指してきましたが、2回戦で惜敗しました。次回、新年度の中国大会予選では、しっかりベスト4へ進出したいと思います。個人戦は、藤本・正中ペアがベスト32に入り、12月に松江市で実施されるインドア選手権大会に出場します。強豪ペアばかりの大会ですが、ベスト8を目指し頑張ります。

【団体戦】1回戦 2-1 大田 2回戦 1-2 松江南

◎**陸上部** 10月24日、25日に益田陸上競技場で行われた西中国陸上大会に、1年寺戸光輝、宇和佐京介が一般高校男子100m、1年古泓彩、實吉藍菜、2年新藤成未が一般高校女子100m、2年澄川結菜が円盤投げに出場しました。今年度最後の大会でしたが、残念ながら自己記録を更新できた人はいませんでした。また円盤投げでは、2位に入ることができましたが、本人の納得のいく結果ではありませんでした。現在、冬季練習でどんなメニューをこなすことで、各自の弱点を克服できるか試行錯誤しているところです。春までの長い鍛錬期に入りますが、しっかりと体力・筋力を身につけ、来年度につなげていきたいです。

◎**文芸部** 11月6日(金)ビッグハート出雲において「高校生文芸道場中国ブロック大会」が開催されました。ワークショップは短歌部門に参加し、他校の生徒と共に短歌鑑賞を行ったり、短歌創作について深く考えたりする充実した時間を過ごしました。本校文芸部は部員数が少ないため、多くの生徒と共に作品を鑑賞する貴重な時間となりました。

また、会の終わりには「島根県文芸コンクール」の表彰もあり、本校生徒の作品〈優良作1点(俳句)・佳作1点(短歌)〉も表彰されました。この作品は全国文芸コンクールへも出品されています。

◎**写真部** 10月19日高文連秋季写真コンクールに出品し、講評会に参加しました。吉賀高校写真部からは14点出品し、特選2点(2年1組 松田あずみ、2年2組 桑原悠菜)、入選4点(2年2組 岡本悠3点、1年1組 永見雄大)が入賞しました。また、春季、秋季コンクールの特選作品を島根県高校写真展に出品し、奨励賞2点(2年2組 岡本悠、2年2組 桑原悠菜)が入賞しました。

島根県高校写真展は、グラントワで12月4日(金)～6日(日)の期間で開催されます。



2 年 生 企 業 見 学

2年生27名が11月17日(火)に町内企業等訪問を実施しました。この目的は「地元企業等を見学し、実際の職場等を見ることにより、来年度の進路選択に役立てる」ことです。当日は「アイ・コーポレーション株式会社」「みひろ化成株式会社」「六日市病院」「六日市学園」様を訪問させていただきました。

2年生にとっては間近に迫った進路選択の参考になっただけでなく、知っているようで知らなかった町内企業等に対する理解も深まった充実した1日となりました。訪問させていただいた企業等の皆様には厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。



1 年 生 東 京 研 修 そ の 後

10月22日(木)の放課後、1年生の小田さくらさんと木戸智也君が吉賀町長を訪ねて、吉賀町からの東京研修への多大な支援に対してお礼を述べました。町長からは東京研修で得たことや学んだことを聞かれ、二人とも青山学院大学での学生との交流を挙げながら、吉賀町の環境のすばらしさを生かした地域貢献について考えていきたいと話していました。

また、東京研修でお世話になった青山学院大学から、大学院生の浅田正寛さんが修士論文作成のため10月27日(火)から吉賀高校に来校され、授業の様子や学校活動、吉賀町の環境についてフィールド調査をされました。4日間という短い期間ではありましたが、常に明るく和やかに生徒たちと接して下さり、温もりのある交流の機会をもつことができました。

中高一貫教育だより -吉賀地域中高一貫教育事務局(島根県立吉賀高等学校内) -

中高一貫教育コーディネーター 春日亮二

よき伝統となってきた中高合同ロードレース大会！

さわやかな秋晴れとなった11月4日(水)、吉賀高校を発着点として中高一貫合同ロードレース大会が行われました。町内の全中学生と吉高生あわせて221人が高尻方面に向かって勢よく走り出す姿はなんとも頼もしく、沿道で声援していただいた皆さんの声にも力が入りました。日頃、部活動や体育の時間等で鍛えた体と精神力を十分に発揮できたと思います。

以下に各コースの結果をお知らせします。おめでとうございます。

また、走り終わった後の豚汁は格別でした。吉高保護者の皆様本当にありがとうございました。

Aコース・・・高校男子及び中学生男子(12Km)

総合の部 1位 桑原健斗(吉高) 2位 山本凌真(吉高) 3位 小田恭也(吉高)

中学校の部 1位 山崎瑠璃人(吉中) 2位 古泓直希(六中) 3位 中村聡一郎(六中)

Bコース・・・高校女子及び中学生男子(8Km)

女子の部 1位 茅原なつき(吉高) 2位 高津 静(吉高) 3位 道面加代子(吉高)

男子の部 1位 南波敏広(蔵中) 2位 黒木直也(蔵中) 3位 遠藤愛己(蔵中)

Cコース・・・中学生女子(5Km)

総合の部 1位 大野愛璃(六中) 2位 中村妃乃(六中) 3位 橋本菜々(六中)

Dコース・・・3Kmのコース

総合の部 1位 藤永 宙(吉中) 2位 下瀬未弥子(柿中) 3位 齋藤 和(柿中)